

ゆうかり放送委員会提供  
**ゆうかりに乾杯**

第132回放送の概要（2018年4月28日放送）

<b>パーソナリティ</b> たろう （佃 由晃） なか （中嶋邦弘） かりん （妹尾優香） あな （岸本幸恵）		<b>ミキサー</b> 門ちゃん （門田成延）  <b>会計</b> 小山俊則  <b>相談役</b> わだかん （和田幹司）
--	--	--

**1. ゲストコーナー（1）水彩画家で一級建築士の吉田公彦さん（武陽会57陽会）**

吉田さんは、サラリーマンなら普通は仕事が90%以上ですが、2つの素晴らしい仕事を50/50でバリバリされています。

（1）高校/大学時代

——学生時代はどうだったでしょうか。“高校時代は暗黒時代”とおっしゃっていましたが、それはどうしてでしょうか？

“悲しくも楽しい男子クラス3年間”だったからです。1年に引き続き2年の時も元気者の池田先生（ミゼット）に気に入られて10数人連れてまた男子クラス、3年は理系で女子が極端に少なく男子クラス。フォークダンスを男子ばかりでやる羽目になったり。しかしとっても楽しかった。体育祭では男子クラスは強かったし、音楽会では男声合唱で馬力を掛けたとか。このスタジオにおられるくらいの素敵な女子達がいる男女クラスだと「ええかっこ」しようががんばったかもしれないね。1～2年生前半は剣道部で、そこには結構な美人女生徒が2人もいたので全然居ない訳ではなかったですが、剣道部を辞めました。剣道部は厳しく途中退部が多く、結局残ったのは強い部員ばかりでした。

——高校時代で特記すべきことは？ 学園紛争があったそうですが、どんな状況だったのですか？

3年になって夏前から火種が起り、東大の安田講堂占拠を発端に兵庫高校でも部落問題とか校則軟化要求とか、勉強しに行っているのか議論しに行っているのか分からなかった。授業も1学期は何とかやれたが、夏休み以降はほとんど無く、大倉山の図書館で自習するものや闘争に没頭するものや、勝手気ままにやっていた。授業がほとんど無いまま卒業した。先生たちは登校していたし、通信簿もちゃんと貰った。卒業式では校長先生が髭ぼうぼうで現れたり、卒業後の同窓会を何時頃やるのかなど決める間もなかった。

——大学ではいかがでしたか？

1年浪人して福井工業大学工学部の建築へ入った。小さい頃から自動車や乗り物が大好きだったので、

自動車のデザイナーになりたくて高校の中頃から目指していた。自動車の名前はたいてい覚えていて、しょっちゅう絵を描いていた。専攻は、“工業意匠科”を狙った、当時工業意匠科のある大学が全国で3ヶ所ぐらいに限られて、当然競争率も高く、学力問題もあって、デザインも含めて広い範囲をカバーしている“建築”へ向った。

## (2) 建築士の仕事

—就職は建築関係でした？ 希望は何？

まだデザインをやりたかったが、建築にも面白味を感じていたので大手建築会社（長谷工）に入った。でも当時の手帳を見れば夏頃には少し幻滅したと記してある。やはり自立したい、設計事務所に入りたいたか思っていて、兵庫県庁（営繕課）でも設計の仕事が出来るのかな？と受験していました。

入社して肌に合わないと思ったが、結局11年続いたのは、仲の良い面倒見の良い友人たち（後に社長になった）や周りの人が良かったから。会社の仕事はマンション中心で、計画づくりで敷地や建物の規模、法的条件や費用積算とか計算していた。

—設計事務所には？

11年経って退社したが、まだ設計よりもデザインをやりたかった。丁度、家庭用品の会社（象印マホービン）が工業デザイナーを募集していたので応募、採用になって転職した。工業デザインの仕事と思っていたが、社長から建築会社の経験を評価されて新しく始める家具製造部門に回された。でも4年ぐらいでその部署が閉鎖されることになり、丁度、大学時代の友人が立ち上げる設計事務所に誘われ、お手伝い方々勉強をできると思い1年半勤めた。

—建築といえば、阪神淡路大震災での建物の壊れ方など、どう感じられました？

構造設計の専門ではないが、意匠デザインから見ても構造感覚の大切さが分かった。地震後4日（1月21日）経って手助けに、友人の住む街全体が壊れてしまったような所へ行った。建物が壊れるときは、マッチ箱のように押したら平行四辺形になって潰れるものというイメージがあったが、そんな壊れ方はほとんど無く、捻れて突端が飛び出す様な壊れ方をしているのを見て衝撃を受けた。

日本の家屋は、大きな開口部があり角に柱が1本、という構造的に弱いものが多く、そこに力が集中して捻れて壊れていた。補強がないと、間取りの問題もあるがそこが弱点になる。屋根や二階部の床も重要です。震災前に、吉田さんが耐震基準の3割増しぐらいで設計した住宅が、三階建てでも震災ではビクともしなかった。三階を書斎にして書棚をしつらえていたが、1冊も落ちなかった。それで構造の感覚は大事だなあと考えた。やはり、難しそうな危なかしいものは大体潰れていた。地盤も基礎も、上の建物の枠組みも大事。壁のレイアウトがうまくいったところは無事でした。

日本は地震が多いから和風の建築がだめだという訳ではない。本当にバランスの良い建物は壊れてなかった。最近の家では、一階に広いリビングが多いが、若い家族で“二階リビング”でもいいよという方に薦めている。一階に小さい部屋を造れば柱が多く立ち、又構造壁も増える。二階は屋根を支えれば良いだけなので、理に適っている。ただ、毎日二階へ上ることが多く、高齢になってから若干しんどいかも。

“現代和風”の設計をしており、外は現代風、内部は和風なの日本人に合うと思っている。また洋

風も得意だと思われていて、ヨーロッパをうろうろするのが好きなので、有名なヴォーリズのようなミッションスタイルの住宅も薦めている。

## 2. ミュージック：

お送りしている曲は、デュオグループ「ハルカナル」作詞・作曲・歌による「True」です。

## 3. ゲストコーナー（2）

### （3）水彩画家

私の6人家族のうち、父と直ぐ下の妹以外はみんな絵を描きます。母のほか、姉が上手であった。この絵は、姉が20歳の頃に昔住んでいた雪景色の村をセピア色のペン1色で描いたものです。唐櫃（神戸市北区）の背後の山が雪で煙っているのが良く描けていて、自分は子供心に（高校生のとき）こんな絵は自分は描けないと思った。またこの絵は母が4年前の95歳のときに描いたもの。しょっちゅう花や家族旅行に行くとき描いていた。末の妹も、いま三田市で多くの生徒さんを集めて絵の先生をしている。

私はこの様に上手な絵は描けないので、自動車や汽車の絵ばかりで、記憶でも幼稚園のときに畳半分ぐらいの大きさに蒸気機関車を描いた。この自動車“GTO”の絵は正に発売直後で、20～21歳の大学生の頃に描いたものです。所謂レタリングという車デザイナーになりたければ、この程度は描かないといけないと言われるレベルですが。



妹



姉



母



三菱ギャランGTO

——絵を習いに行ったとか、学校で美術の教科か部活だったことは？

どれもやったことはない。高校時代は美術の教科はなくて選択できなかった。書道と音楽だけだったので南山先生の音楽を選択した。家で好きな絵を描いていたが、母が習っていた神戸の納 健さん（西宮在住）という画家にちょっと見て貰ったことがある。「君は鉛筆よりもペンで描く方が良い」とか、アドバイスをいただいた。

絵を描くきっかけとなったのは、建築会社が大阪で、絵になる建物が沢山ある御堂筋の界隈で、昼食後に、スーツを着たまま、小さいスケッチブックと女性用の化粧用コンパクトのような小さなパレットを持参して描いていた。あるとき、その絵を会社に来ている建築物完成予想図（パース）の画家の先生（他社の設計担当者）に見せたら、色の塗り方というか色の混色、例えば煉瓦の色を単色系から朱色やコバルトブルーなどの色んな色を掛け合わせることを教えて貰った。実際やってみると、これがまた深い。ブルーを濃くすると影の部分となり、朱色を多目にすると新しい煉瓦になる。混色の仕方を教えて貰ったことで、それでは別の部分、例えば石の色はどうなるのか、色の発見とともに人に見せられる絵を描けるようになった。

本格的な絵画に入ったのは、建築会社で街並みを描いて、人にも出会えて、といったところからです。建築のためのスケッチと、一般水彩画のスケッチは大体同じようなものです。家を建てるように、こんな部屋になるとスケッチを見せる。水彩ではなく簡単に色鉛筆とかマーカーを使うが、私の場合違いのボーダーは無い。

——絵を描くときに建築の知識は役に立つのですか？

建築の階高と幅とのバランスがどうかとか、大きさはどうかとか。そういうのが分からないまま絵を描く人がいます。古い建物だとロマネスク、バロック、ゴシックといった様式がある。ロマネスクには半円アーチ、ゴシックには尖ったアーチのデザインを合わせることになっている。全体のバランスは建築をやって初めて見れるものかなと思う。

いま絵画を教えているが、構造的なところでまず骨組みから描くように、例えば椅子を描くときもそうですし、船では船体が上の構造物との全体的にみたバランスとか、右側左側はどうだとか、プロポーションをかなり教えている。遠近法もバニシング・ポイントに向かって段々小さく描いていくことが大事で、これを間違えると絵が歪んでくる。直線を描くのは建築をやっていると有利で、線をクロスする点まで描ききると線がしゃきっと生きてくる。また柔らかく描く部分とのメリハリが大切だ、と言っている。要するに、描く物をよく観察することが大事で、頭（先入観）で描かないこと。何も教えない状態でシンプルな紙コップとかを描かしてみると予想通り（紋切り型）になってしまう。丸を描いて直線で底まで描く。実際は大きめの薄い（細長い）楕円を上に、小さく薄い（細長い）楕円を下に描いて、2本の線をつないで不要な線を消すと自然な（無理のない）形の紙コップが描ける。サイコロを描かせても同じく平行四辺形の筈が、上から見た正方形から入ってくることがある。

——スケッチ旅行はどちらへ行かれます？

国内よりも海外が多いです。建築の勉強にもなるヨーロッパが願望で、サラリーマンの建築会社から友

人の設計事務所の期間を済ませてから拘束されるものが無くなって、40日間ほどヨーロッパ旅行に出かけた。人生の中で是非1回はやりたい、特に歴史的な建築物の絵を描きたいと思っていたから。今後も、イタリア中心にイギリス、フランス、オランダなどに行きたいと思っている。古い街並み、フランスでは美しい村150選とかあってどこも絵になる。まだ行ってないところが沢山あって、フランスのサンカルのミディピレネー地方の崖上にある美しい村「サン・スィルク・ラポピー」、オーストリアの「ハルシュタット」の透明度の高い湖とほとりの集落など。



フランス「サン・スィルク・ラポピー」



オーストリア「ハルシュタット」

旅行中40日間、目一杯描いていた。3日ぐらいは同じ所に滞在して心行くまで描いた。また1週間とか10日ほどの別の旅行では、ラフを描いて色のイメージなどをしっかり残して、帰国してからしっかり描き上げていた。以前、パリでスケッチしていたらパリジャンが「描いている絵を売らないか」と持ちかけてきたエピソード付きの絵は、下絵を1時間、塗るのが1時間ぐらいです。まあ手が込んでいるように見せるのもノウハウで、自分の印象の中身を表している。建築をやっていると、手抜きしてはいけない部分も分ってくる。



フランス オンフルール



パリ エピソード付

——個展はされました？

25年ほど前から個展を開いている。画家の先生に薦められてから、神戸を中心に16回、大阪や東京銀座で1回ずつ、好評を頂いているようです。

個展のほか、20年近く絵画を教えている。小さいコミュニティから、有馬温泉で近所のおじさんおばさん方に頼まれてスタートさせたり、美容師さんとか造園家のグループからも、お客さんに示す絵を描けるようになりたいとかの要望があった。

最近では、トアロードで教室を持って2年半経った。あと、以前に57陽会の卒業後初めての同窓会でみんなに披露し、葉書に作成して配ったりした懐かしい旧校舎のフォアサードの絵を、その後の兵庫高校のホームカミング・デイで掲示、また近く兵庫高校の創立110周年記念式典でも会場に掲示して貰います。

最後に、感性は年を取るから若い人たちに言いたいことは、“ヨーロッパを旅行しなさい。文化の宝庫だから”です。



兵庫高校旧校舎

#### 4. こぼれた話こぼれなかった話：「兵庫」の名の由来

「ひょうご」の名前はどこから付いたのでしょうか。兵庫県庁、神戸市兵庫区、兵庫高校などなど。漢字は「兵庫」、昔読みで「つわものぐら」です。要するに兵器を格納しておく武器庫という意味です。1400年前の天智天皇の大化の改新の時代に、畿内（きだい）の最西端に関所（須磨の関）を設けた時に、関所の背後地に武器庫を置いていたからです。その武器庫はどこにあったか、これには諸説あります。

古文書に残る貴族の領地「荘園」、すなわち「兵庫荘」がいまの神戸市兵庫区周辺にあったのは、昔の

「つわものぐら兵庫」があったから兵庫区周辺だということ、昔の港が古代の大和からみて大阪湾の向こう側、「務古」の地の港、後に大輪田泊＝兵庫荘の港の后背地、北部の室内周辺という説もあります。「務古」の地の港は武庫川河口周辺という説もあるが。そうすると、兵庫高校の武陽が原の南側周辺の室内あたりかと考えられます。

その後、大輪田泊は兵庫津と呼ばれ、明治の廃藩置県で初代県庁を置いたのが兵庫津の兵庫城跡だったので「兵庫県」と名付け、昭和の戦後、新制高校スタート時に、神戸一中が神戸高校を取ったので、神戸二中は神戸より大きい兵庫高校を名乗ったのです。

## 5. 地域瓦版

“第48回神戸まつり”のメインのパレードは5月20日（日）の12時30分から。その前の13日（日）は神戸カッターレース、ヨットレース、18日（金）は港のジョージ（?）、19日（土）は各区での祭り。長田区は10時45分から若松公園鉄人広場で苗木やバッジ（限定150）を配布。

“楠神社の南公武者行列”は5年ごとで、5月26日（土）10時から湊川神社、楠町、荒田町、湊川公園、新開地、ハーバーランド、元町商店街を巡ります。

“兵庫高校創立110周年記念式典と祝賀会”が5月5日に開催されます。式典は1時からポートピアホールで、祝賀会は5時からホテルの大輪田の間で開催されます。そこでは、吉田さんの原画5点ほど掲示されます。ターザン山下さんの企画もあります。

本日の放送は、“Youtube Live”配信をしました。

<https://www.youtube.com/watch?v=xaplhkDD1cE>

放送音声は、FMYYのHPで視聴いただけます。<http://tcc117.jp/fmyy/>

また、音声と放送概要は、番組のHP <http://yukari-ni-kanpai.sakura.ne.jp/>で視聴いただけます。

（注）番組HPのURLは本年5月より変更しています。

以上